

つくば短編映画コンペ

# 大石さん（横浜）グランプリ

## 製作兼主演 男の友情描く

つくば市などが主催する「第2回つくばショートムービーコンペティション つくッペ」の最終審査会が21日、同市吾妻の西武筑波店で開かれ、ノミネートされた短編映画10作品の中から、グランプリに大石結介さん（37）＝横浜市＝の作品「岐路」が輝いた。男の友情を描いた内容で、役者でもある大石さんは製作とともに主演を熱演。編集の質の高さが評価された。



つくッペは、映像分野における若き才能の発掘を狙い、西武筑波店、つくば市、筑波学院大の産官学が企画する映画祭。市民参加をモットーに、一般市民の投票で決まる「観客賞」も用意。特別審査員をつくば市出身の映画監督、中村義洋さん

が務める。本年度は全国から71の応募作品があり、1次審査を通過した実写7、アニメーション3の計10作品が同日上映された。「岐路」は、仕事上のミスから自殺をしようとしていた主人公の前に、行方不明になっていた高校時代の友人が現れる物語。大石さんの職業は役者で、自己資金で作った今作で主人公を熱演。原案は自分で考え、知人の映像作家に監督を依頼し、完成させたという。

中村監督は「心にグッとくる話で、編集の仕方がうまい」と評価。大石さんは「以前、中村監督の演技指導を受

け、映画を作るなら監督に見てもらいたいと思っただけです」と喜びを語った。観客賞には福島県立相馬高校の生徒たちが作ったドキュメンタリー映画「野馬追、その心」が選ばれた。（今橋憲正）

中村監督は「心にグッとくる話で、編集の仕方がうまい」と評価。大石さんは「以前、中村監督の演技指導を受